

アジア・アフリカ地域研究

第 24-2 号

2025 年 3 月

目 次

論 文

- セネガルのスーフイー教団における朗唱「ズィクル」の音楽構造
—宗教実践のコンテクストと旋律パターンに着目して—……………星野 佐和 167
- 生業戦略に資するデジタル時代の情報交換
—ベトナム・メコンデルタのエビ養殖者のFacebookグループを事例に—
……………皆木香渚子 189
……………柳澤 雅之

書評論文

- 書評『オルジェイトゥ史—イランのモンゴル政権イル・ハン国の宮廷年代記』
……………井谷 鋼造 218

書 評

- 森 明子編. 『ケアが生まれる場—他者とともに生きる社会のために』
ナカニシヤ出版, 2019年, 320 p. ……………永田 真子 236
- 湖中真哉・グレタ センプリチェ・ピーター D リトル編.
『レジリエンスは動詞である—アフリカ遊牧社会からの関係／脈絡論アプローチ』
京都大学学術出版会, 2024年, 484 p. ……………土田 亮 239
- Kumiko Sakamoto, Lilian Daniel Kaale, Reiko Ohmori and Tamahi Kato
(Yamauchi) eds. *Changing Dietary Patterns, Indigenous Foods, and Wild Foods:
In Relation to Wealth, Mutual Relations, and Health in Tanzania.*
Singapore: Springer Nature Singapore Pte. Ltd., 2023, 340 p. ……………下山 花 242
- 加納遙香. 『社会主義ベトナムのオペラ—国家をかたちづくる文化装置』
彩流社, 2024年, 279+54 p. ……………栗原 浩英 246

フィールドワーク便り

- 大地が揺れる, 主体も揺れる
—トルコ・シリア地震に関する運命論の転回と忘却をめぐって—……………永田 真子 250
- ベトナム・ホーチミン市での文献探しの旅……………金 知雲 254
- 試合に行こう!
—タタに乗って—……………高橋 明穂 258
- 生活に根ざしたものづくり
—ピーナッツとココナッツの果肉を砕いた先に—……………畔柳 理 262
- 事件は現場で起きている
—ルサカ周縁の未計画居住区における飲料水汚染—……………高橋 侃凱 266
- 研究と現実
—パラオでのフィールドワークの旅路—……………岡野 美桜 270
- グジャラートで考えたこと
—保守的な空間の中で—……………緑川 茉歩 274
- ヒマラヤと動物と人と……………秋田 日和 278
- 漁獲漁業と養殖業のはざままで
—カンボジア漁業における養殖業の拡大—……………岡田 龍樹 282